

平成18年度国際学術コミュニケーション委員会 SPARC/JAPAN プロジェクト活動報告

1. 会議及び広報活動等

1) プロジェクト打合せ

8月 SPARC “Author Rights”翻訳に関するメール打合せ

10月4日(水)(国立情報学研究所)

- ・ NII「国際学術情報流通基盤整備事業」パートナー誌の活動評価に関する打合せ

10～11月

- ・ JISC&SURF “Licence to publish”翻訳を加えた「著者の権利」の改訂に関するメール打合せ

10月26日(木)(東北大学附属図書館)

- ・ NII「国際学術情報流通基盤整備事業」パートナー誌の活動評価に関する打合せ

3月1日(木), 3月20日(火)(国立情報学研究所)

- ・ NII「国際学術情報流通基盤整備事業」パートナー誌の活動評価に関する打合せ

2) 国立情報学研究所との協議等

第1回運営委員会(9月8日(金)/国立情報学研究所)

- ・ 平成18年度事業計画等を決定(大学図書館から見た事業評価の実施を決定)

第2回運営委員会(1月30日(月)/国立情報学研究所)

- ・ 平成18年度事業報告及び平成19年度事業計画について

3) 広報活動等

SPARC「Author Rights(日本語訳)」のWeb公開(9月15日(金))

JISC&SURF「Licence to publish(日本語訳)」を追加し、「SPARC及びJISC&SURFの推奨する「著者の権利」を留保するための契約書等について」をWeb公開(12月27日(水))

2. 国立情報学研究所・国際学術情報流通基盤整備事業との連携

同事業運営委員会の下に設置された「事業評価ワーキンググループ」(WG)において、大学図書館の観点から、同事業及びパートナー誌の活動を評価することとなり、WGに土屋主査、木村、村井の3名が参加した(ほか、藤田儒聖(島根県立大学メディアセンター)、中元誠(早稲田大学図書館)計5名)。

本プロジェクト打合せを兼ねてWG打合せを開催し(上記「プロジェクト打合せ」参照)、評価の観点(大学図書館へのコンソーシアム提案状況、大学・利用者へのサービス内容、提供コンテンツの範囲等)の検討、NIIを通じた学会・パートナー誌への調査、調査回答に基づく評価を進めており、報告書を提出予定。

3. 今後の活動予定

1) 国立情報学研究所との連携協力

国立情報学研究所「国際学術情報流通基盤整備事業」との連携協力を、継続して進める。

2) 国内外の関係団体との情報交換・連携

国内外の学術コミュニケーション関連団体と情報交換を行い、連携を図る。

3) 機関リポジトリの普及活動

学術コミュニケーションの改善策の一つである「機関リポジトリ」については、学術情報委員会デジタルコンテンツ・プロジェクトとも協力・連携をはかり、その必要性についても、広報活動を行う。

以上